

## 在宅における一人暮らしの方の現状

私たちは在宅訪問診療を中心に活動行っていますが、この訪問診療について少し説明させていただきます。

在宅訪問診療とは、何らかの理由で病院に通えない方々に対して計画的に予定を立て医師が訪問し医療的サポートを行うというものです、これを24時間体制で対応しています。

往診とは、緊急に対応して診察を行うことです。

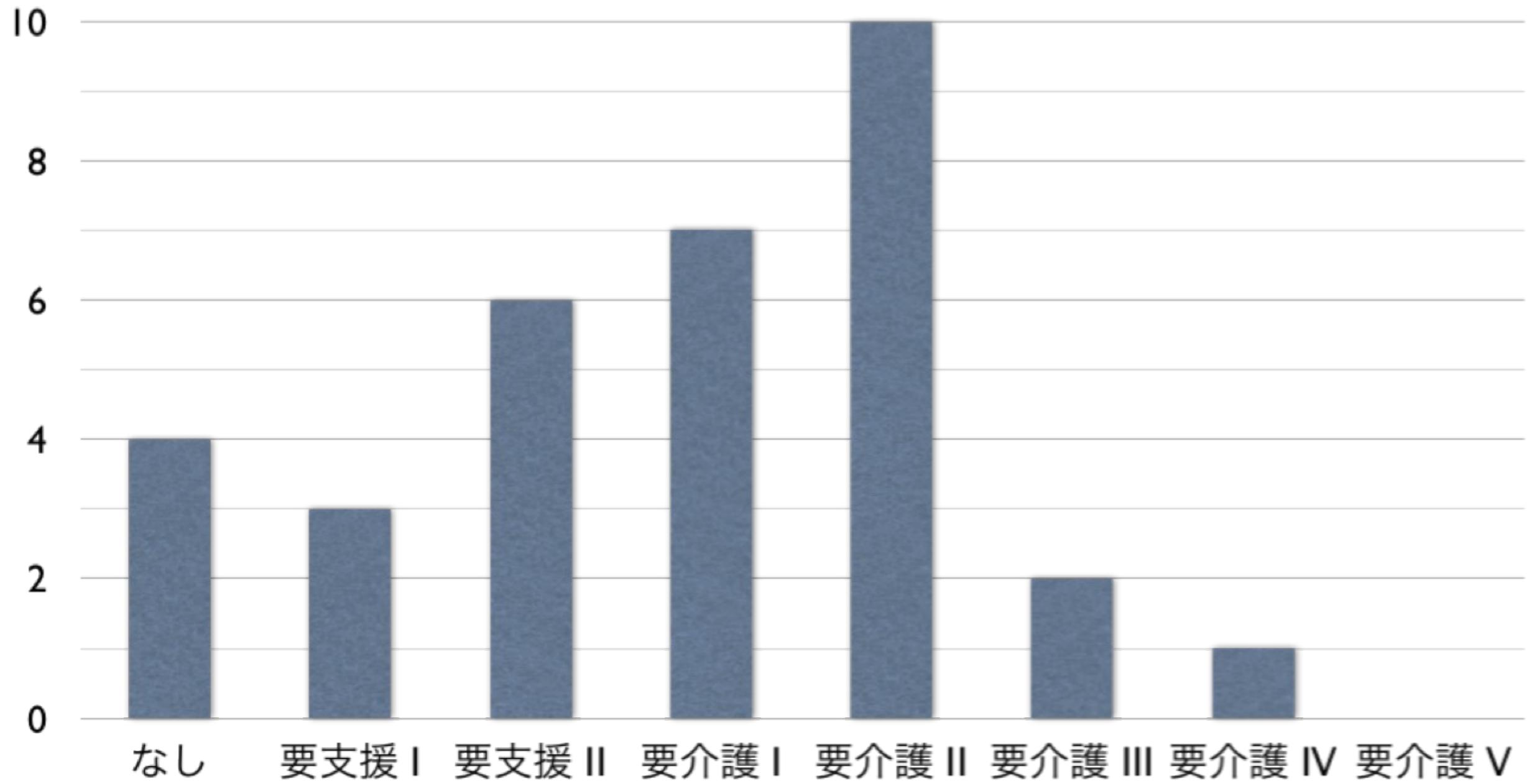
平成22年8月31日時点で当院の在宅医療を受けている患者さんは約180名、自宅、グループホーム、高齢者賃貸住宅など生活環境も様々です、その中で、今回自宅に一人住まいの方（独居）に注目し、本人、ケアマネジャーさんに依頼した在宅医療看護課独自のアンケート調査を行いましたので発表させていただきます。

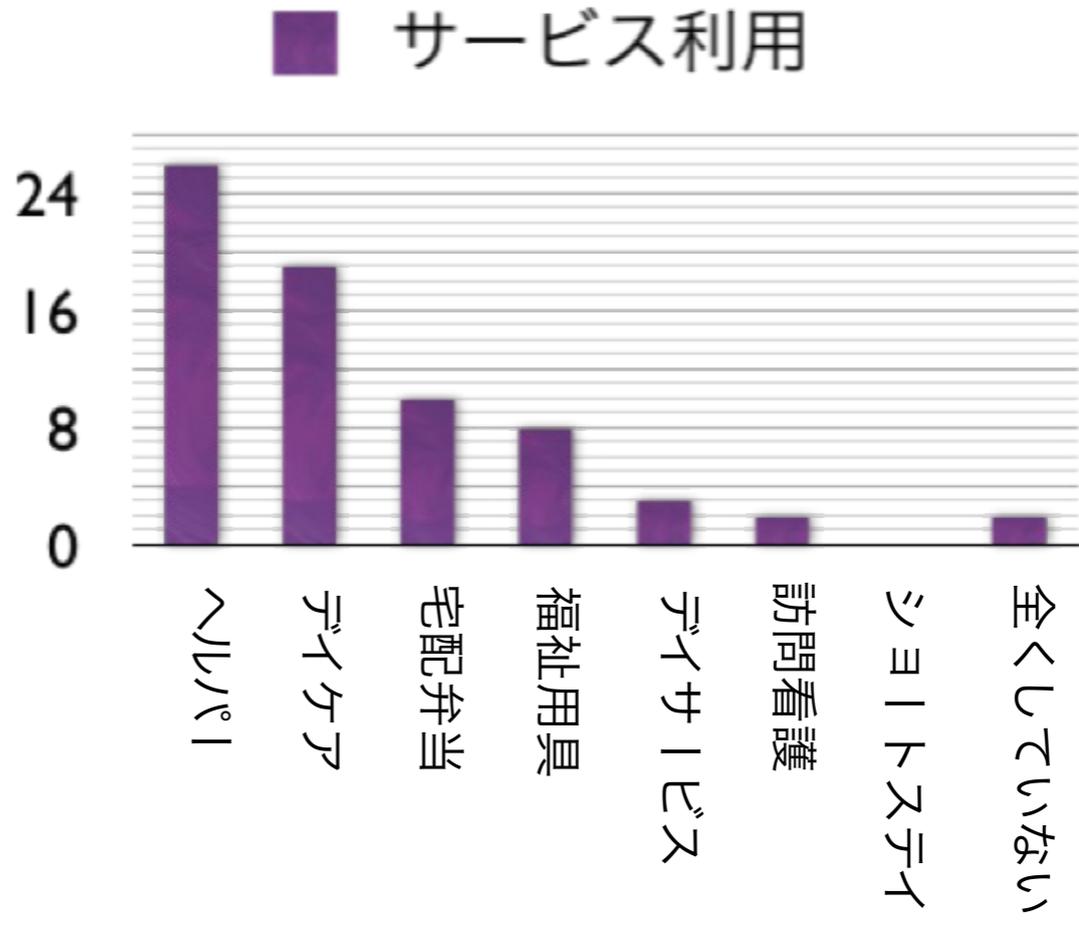
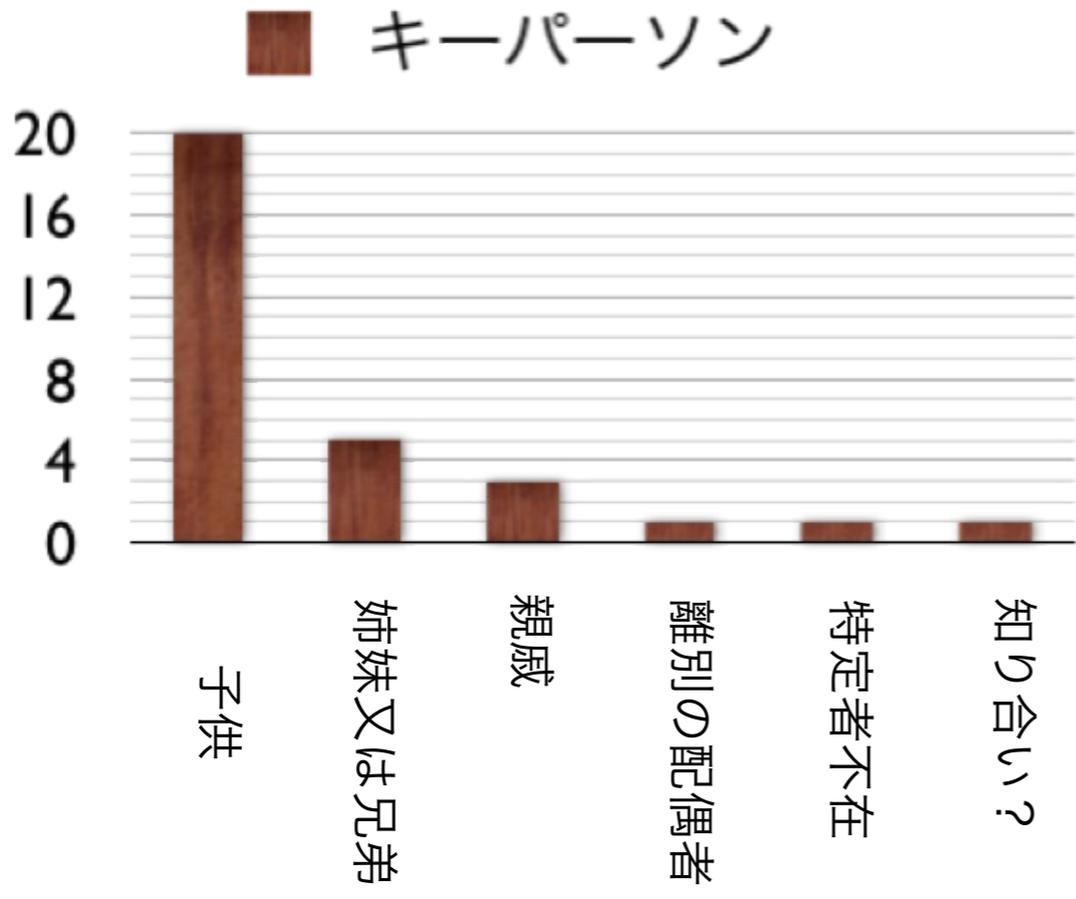
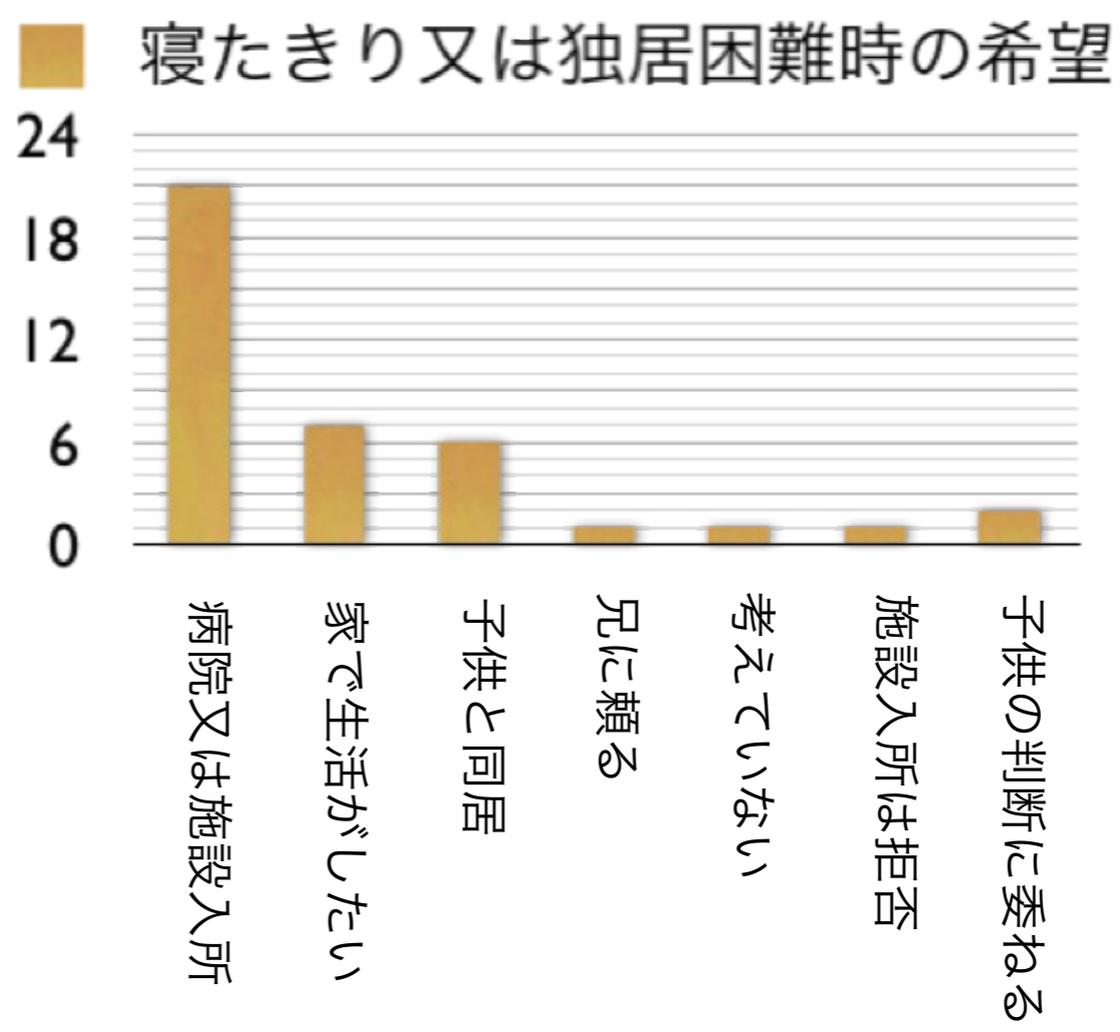
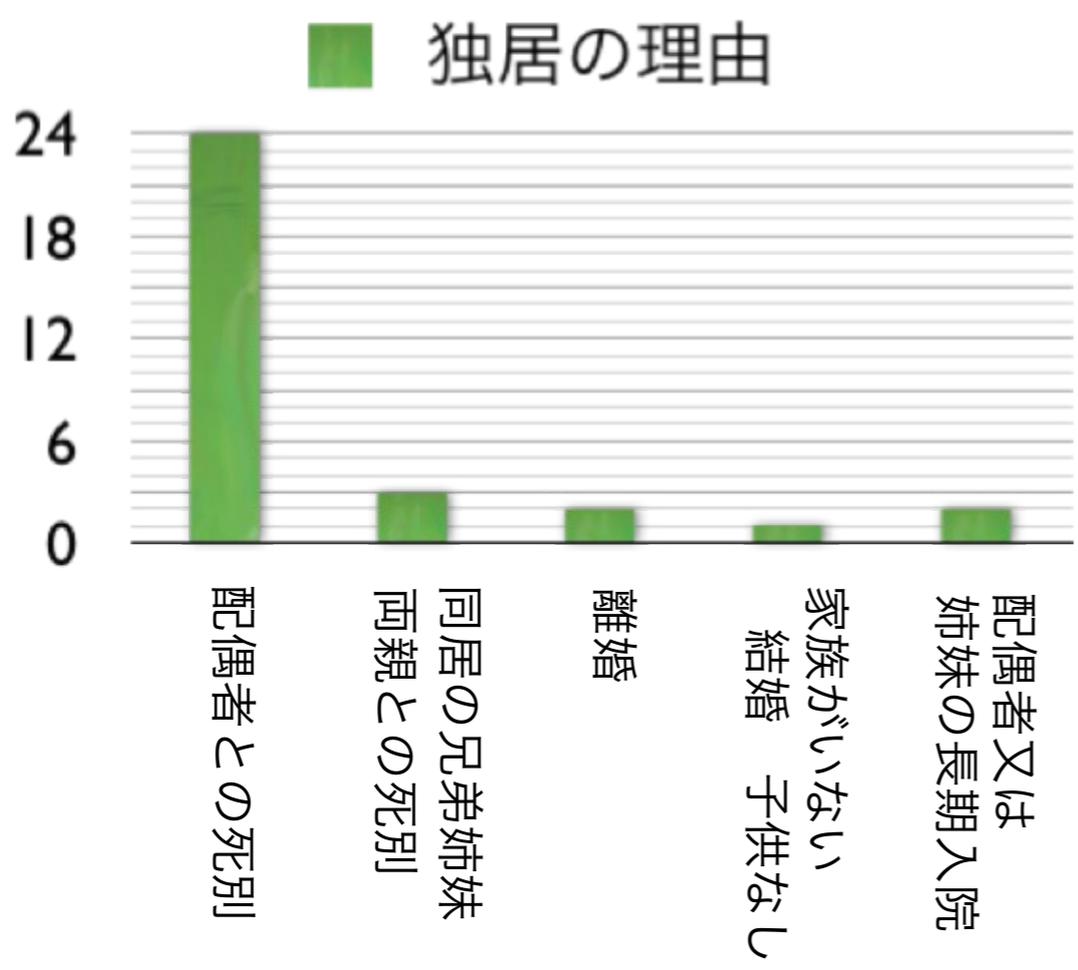
# 独居の方のアンケート調査報告

総数 33名 (男性：8名 女性 25名)

平成22年8月31日 現在

■ 介護度





この結果をまとめてみると

1. 介護度にかかわらず、身内、家族がいても病院又は施設入所を希望される方が多いという事がわかる。
2. 配偶者との死別というのが、病院又は施設入所を希望する理由にあげられる。
3. キーパーソンが子供と言う方が多い中、子供と同居したい方が6名と、子供がいるからといって必ずしも子供と同居したいと思うわけではない。
4. 家族がいない、キーパーソンが特定者不在の方の急変時の対応については、ケアマネージャー、ヘルパーなどとの連携が特に大切になってくると思う。

以上の4点をふまえ、これから各部署との密な連携を取って行く事で、一人住まいの方の不安を少しでも取り除いていけるような、訪問診療を目指していきたいと思えます。

ケアマネージャーの皆様、ご協力いただきまして有難うございました。

在宅医療看護課一同

発表者 藤園真梨子